

ユキノシタ科

チシマネコノメソウ

Chrysosplenium kamtschaticum Fisch. ex Ser.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

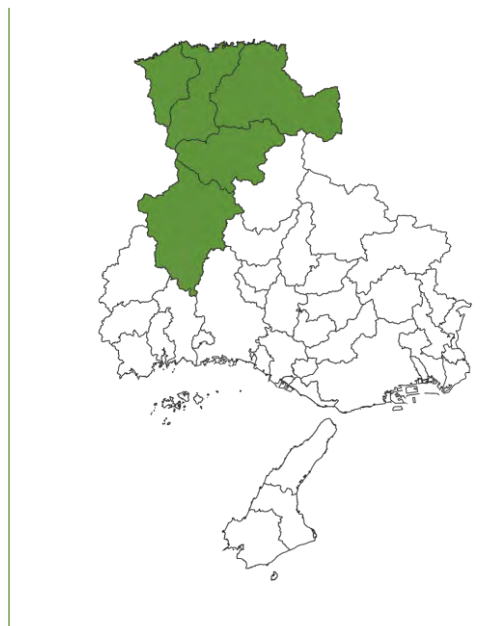
宍粟市、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町

■ 国内分布

北海道、本州(近畿以北の日本海側)

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

新たな生育地が確認された。2020年版でBランクからCランクに変更した。

■ 保護上の留意点

溪谷沿いの樹林の保全が重要である。



写真提供: 松岡成久

■ 種の概要

温帯林に被われた沢沿いの陰湿地に生える。軟弱な多年草で、花序の分岐点と葉腋を除き、全株無毛。根出葉(4-6葉)が束生したロゼットがあり、ふつう花時まで残る。花茎は高さ3-20cmになり、淡緑色または暗紅色を帯び、無葉または1対の葉を対生する。花後に根出葉(まれに茎葉)の腋から細長い地上性の送出枝を生じ、その先端にロゼットをつくり越冬する。苞は卵形から円形で、先端は円形、基部はくさび形となり、茎葉より大きい。花期は4-6月。